東北３県
冊子（平成 23 ～ 24 年度）

Nippon

がんばろう！日本
鬼復興祈念プロジェクト

実行委員会　委員長 **藤田　勲**

Cool JAPAN

東大まちづくり大学院クールジャパン委員
内閣官房地域活性化伝道師

Crafting a Lifestyle
JAPAN GALLERY SHOP
Hand-Made Crafts and New Ways of Life

鬼に金棒人形（フランスのカンヌに展示） 経済産業省
クールジャパン
「ライフスタイルのブランド化」

神城文化の森

一般財団法人　神城文化の森　藤田財団　理事長　藤田　　勲
〃　　　　　　　　　　　　　〃　　副理事長　藤田　俊哉

〒 868-0303 熊本県球磨郡錦町西字打越 715-17
TEL 0966-38-1728　FAX 0966-38-7728
E-mail　info@fujita-zaidan.org
http://www.fujita-zaidan.org/

Profile　内閣官房地域活性化伝道師　藤田　勲　プロフィール

藤田　勲
松崎一郎
共著
H23.10
出版

ふりがな 氏　名		ふじた　いさお **藤田　勲**　藤田勇助 先祖代々より 6 代目 藤田 勲　昭和 19 年 7 月 2 日生まれ 血液型 O 型
藤田家家紋	名 称	神城文化の森　藤田株式会社 一般財団法人　神城文化の森　藤田財団
	役 職	代表取締役社長　／　藤田財団理事長
連絡	住　所	〒 863-0303　熊本県球磨郡錦町西字大谷 742-1
	連絡先	E-Mail　fujita-isao@fujita-zaidan.org TEL 0966-26-5277　FAX 0966-38-3845　／　TEL 0966-38-1728　FAX 0966-38-7728
経　歴		S 35.4　立松重一養鶏場入社（名古屋市 15 歳） S 41.2　藤田精肉店創業～ S45 年 1 月まで（4 年間）及び S44.10 (有) 中球磨食鳥設立 … 個人経営 S 45.3　(有) 中球磨ブロイラー設立 S 48.12　(有) 中球磨ブロイラーを (有) 球磨食肉センターに商号変更 S 54.7　(有) 球磨食肉センターを (株) 球磨食肉センターに組織変更 S 55.4　(有) 熊食産業設立〔毎週土日 肉のジャンボ市〕 S 57.3　(株) 球磨食肉センターを (有) 熊食産業に合併 S 58.6　(株) サンロード設立 S 60.12　(有) 熊食産業を (株) サンロードに合併 H 15.6　(株) サンロードを藤田 (株) に商号変更 H 20.4　相良 810 年の歴史協力会設立 会長就任 H 23.2　日本、木の文化と地域づくり委員会発足 委員長就任 H 23.5　H23 年 5 月創業 45 年の集大成事業の地域づくりに取組む (個人経営の 4 年を 1 年として計上) H 23.5　ラオス国の国家主席命による勲章の授与 及び ISAO FUJITA 小学校の開校 (開校式典 7 月 16 日) H 23.8　東大まちづくり大学院プロジェクト クールジャパン委員会 委員に推薦 H 23.8　『がんばろう！日本 鬼復興祈念プロジェクト実行委員会』委員長就任 神城文化の森
著　作		企業文化力と経営力「中小企業よ、今こそ経営力を！」（共同著者） 財団法人 神城文化の森 藤田財団 理事長 藤田 勲 および ＰＤＤ中央経営 松崎 一郎 〔平成 23 年 10 月発売〕明日香出版社（東京都文京区水道 2-11-5）
取組概要		中学卒業後、集団就職で名古屋の養鶏場に住込みで働き、毎月の給料全部を貯金し、郷土熊本に戻ったが、20 歳の時に生死に係わる大病を患い、治療をしながら 21 歳で「藤田精肉店」を創業する。その後、法人化と規模の拡大を進め、昭和 58 年“郷土愛を大切にしたい 社員一丸となって郷土に奉仕”という企業使命感のもと、サンロードシティ錦町を計画。当時は、見渡す限り山ばかりの郊外だったが、『ジャスコ（現イオン）』を核店舗に 23 店のテナントや専門店からなる商業複合施設を平成 5 年 5 月 28 日にオープンした。 ※約 11 万坪の広大な用地を 57 名の地権者より購入。 サンロードシティ錦町計画とは別に、文化事業を主とする〔 神城文化の森 〕計画も手掛ける。この文化事業〔 神城文化の森 〕計画は、昭和 58 年 11 月にサンロードシティ錦町の用地買収を開始した時から計画の一環としていたもので、構想の第一段階として、昭和 60 年 8 月 10 日に神城神社の建立、及びお城（神城）の建設を実施した。 平成 21 年 9 月 1 日、≪ 日本の木の文化と地域づくりモデル認定地域 神城文化の森 ≫と題した提案書を地元錦町へ提出し、全国で初めての官民一体となった「日本の木の文化を中心とした地域づくり拠点（内閣府 民間資金活用事業）のモデル地域指定の認定をお願いした。また、同時期に球磨人吉地域づくりの為〔神城文化の森〕施設を地元錦町へ寄付。その他、国際交流として、ラオス（22 校の小学校建設）、中国（万里の長城 環境保全植樹活動）への援助・寄付活動、そして、熊本県民運動（ロアッソ熊本スポンサー支援）などの活動に貢献した。 現在、地域づくりの新たな展開を考慮している時「東日本大震災」が発生し、先人から受け継いだ日本人の素晴らしい“助力の精神”を誇りに思い、その象徴として「鬼復興祈念プロジェクト」を有志と立上げ、東北 3 県に“鬼に金棒人形”“世界自然遺産登録地屋久島・屋久杉木札”を直接届けている。
メッセージ		地域活性化の活動の原点である環境保全活動に力を入れ、日本の財産である『 豊かな自然環境と相良 815 年の木の文化 』を守り、次世代に引き継ぐ事が重要と考えています。 今、私達自らの手でできる環境活動を積極的に行い、日本全国、世界へ環境保全の重要性を発信したいと思います。　(2 ページにつづく)
ホームページ		http://www.shinjyou.jp/ (神城文化の森 藤田株式会社)　／　http://www.fujita-zaidan.org/ (藤 田 財 団)